

ケーススタディ



スマート

PD-9024Gは下位互換性があり、VoIP電話、IPカメラ、WLANアクセスポイントなどの802.3af端末で安全に使用することができます。



コネクテッド

当社のPD-9024Gミッドスパンは、IEEE 802.11nおよびIEEE 802.3atアクセスポイントに電力を供給するためのIEEE 802.3atに準拠したソリューションを提供します。



セキュリティ

セキュアなリモート管理を実現するために、当社のPD-9024G PoEミッドスパンにはPowerView Pro管理プラットフォームが内蔵されています。



ギガビットミッドスパンがUMCユトレヒトのワイヤレス構想に応えます

VoskoはPoE+を使用して既存のインフラストラクチャをアップグレードし、堅牢なワイヤレスヘルスケアネットワークを構築します

医療機関は、多くの場合、テクノロジー採用の最前線にいます。その使命は、医療スタッフとネットワーク管理者が患者にとって最も良い結果が出るように専念できることであり、彼らが高レベルのパフォーマンスを実現できるようにするテクノロジーの進歩が最優先の検討事項になっています。電子カルテ (EMR)、超高解像度医療画像、ビデオストリーミング、遠隔医療提供へのアクセスは、医療用WLANの適用範囲を絶えず押し広げています。患者、医師、看護師、臨床医、そしてサポートスタッフは常に移動しており、次世代アプリケーションがその真の価値を発揮するには、構内をユビキタスにカバーする必要があります。



病院内での最新のワイヤレスネットワークの魅力的な実用例としては、管理者が施設内の人で、車椅子、点滴ポンプ、ヘルスモニター、そしてさまざまなタグ付けされた医療資産の位置を特定することができるリアルタイム位置情報システム (RTLS) があります。ウェアラブルなWi-Fi音声デバイスは、看護師の巡回をサポートするプライベートな介護者用ネットワークです。セキュアで自動化された処方・調剤アプリによって、薬の院内での引き渡しが可能になります。ベッドサイド・モニタリング・システムは、患者が院内を移動するときに携帯させることができます。ワイヤレス通信のスループットのアップグレードは、毎年開発される広帯域のアプリケーションに対応するものです。

院内では数十年前からワイヤレスネットワークが導入されていますが、一般企業の世界で散見されるのと同様の容易さで統合され、展開されてきたわけではありません。802.11 Wi-Fi規格が漸進的にアップグレードするたびに、その速度、信頼性、セキュリティ、接続性および管理性は向上してきました。院内の次世代ワイヤレスネットワークを構築している者にとって、評価から設置に至るまでの工程は一般企業とは異なる、多くの精査を必要とするものです。



企業ITイノベーターとの連携

数十年にわたるシステム統合の成功により、オランダのITスペシャリストであるVosko B.V.は、オランダ全土における、企業向けネットワーク、統合化された通信、セキュリティ、データセンター、そして管理サービスの提供において、確固たる評価を得ました。Vosko社は、南ホラント州のゴータに本社を置き、大規模で複雑なインフラストラクチャネットワークにサービスを提供する信頼されるプロバイダーとしての地位を確立し、医療、政府および高等教育の分野において、羨望される存在感を示しました。現在は、Conscia A/Sに買収されたことにより、はるかに大きなヨーロッパのシステム統合事業体の一翼をになっています。

Conscia社は、セキュアで信頼性の高いITインフラストラクチャのリーディングプロバイダーであり、サイバーセキュリティ、データセンター/クラウドの実装、ネットワーキングとワイヤレス展開およびデジタルワークスペースアプリケーションに重点を置いています。デンマークに本社を置く同社は、ドイツ、ノルウェー、オランダ、スロベニア、スウェーデンにまで事業拠点を拡大しています。



Major Incident病院はユトレヒト大学医療センター (UMCユトレヒト) 内で、例外的な状況下における救命救急医療を担っている有数の施設です。

複層的ヘルスケアのリーダーから提供されるワールドクラスの医療

Vokso社の主要顧客の1つであるユトレヒト大学医療センター (UMCユトレヒト) は、事業に不可欠なアプリケーションをサポートする堅牢で可用性の高いワイヤレスネットワークを構築するよう、同社に依頼しました。

UMCユトレヒトは、オランダ最大の公的医療機関の1つであり、約12,000人の職員からなるチームを擁しています。大学病院として、この組織は大学医療センター (UMC)、ウィルヘルミナ小児病院 (WKZ) およびユトレヒト大学医学部で構成されています。その使命は、一流の医療を提供する基盤を継続的に構築しながら、スタッフ、学生、患者に対して最高の結果をもたらすために、組織のすべての分野にわたる連携を奨励し、サポートすることです。

Major Incident病院は、UMCユトレヒト内にあるもう一つの優れた施設であり、例外的な状況下で救命救急医療の提供を担っています。これは、国防省中央軍病院とUMCユトレヒトの協力の結果です。Major Incident病院は、大規模な学術医療機関、軍病院、外傷センターおよび国家毒物管理センター (NVIC) の各リソースを組み合わせることで、最も過酷な状況下での緊急治療を提供するために必要となる一流の設備と専門知識を強みとしています。

課題

UMCユトレヒトの管理者は、関係者の発展的なニーズに応えるためには、既存のアーキテクチャでは、想定していた新しいワイヤレスネットワークの完全な機能を実現するために必要な電力が提供できないことを認識しました。

病院構内での接続機器に対する需要の高まりに対応するためには、UMCの構内で

新たに提案されるネットワークが、複数の建物にまたがる数千の新しいワイヤレスアクセスポイントに効率的かつコスト効率よく電力を供給する必要があります。

ROIを最適化し、予算要件を満たすためには、既存のスイッチングインフラストラクチャを活用することと、設置の複雑さを回避することが不可欠でした。





ソリューション

Voskoは、財務支出を抑制し、迅速に設置、展開可能な高出力ソリューションがUMCコトレヒトにとって必須であることを理解していました。彼らは、PoE+とミッドスパンテクノロジーを組み合わせ導入し、既存のイーサネットスイッチを維持することを提案しました。

高電力アプリケーションに確実に電力を供給するため、独自の機能と設置しやすいという特徴から当社のPoEミッドスパンが選択されました。

200台のPD-9024Gミッドスパンが構内の複数の建物に設置され、3000台以上のワイヤレスアクセスポイントに電力が供給されました。PD-9024Gは下位互換性があり、VoIP電話、IPカメラ、WLANアクセスポイントなどの802.3af端末で安全に使用することができます。プラグアンドプレイで設置できるため、既存のイーサネットインフラストラクチャを活用して簡単かつコスト効率高く実装できると同時に、将来性のあるネットワークが保証されます。セキュアなリモート管理を実現するために、PowerView Pro管理プラットフォームが内蔵されています。

機能としては以下のものが挙げられます。

- すべてのポートでポートごとのフル出力が同時に可能。全電力を中断なく確実に供給
- リモート管理機能を提供。エンドポイント問題の迅速な評価を促進。リモートで再起動と電力診断が可能
- プラグ・アンド・プレイ設置が可能
- 業界のテクノロジーおよび安全基準に準拠し、相互運用性を確保
- 継続的なサポートと限定生涯保証を提供

「(Microchip社の) パワーイン
ジェクターはとても簡単に導入
できます。この製品は、まさにそ
の謳い文句通りに機能します。」

UMCユトレヒトプロジェクトマ
ネージャー





結果

ワイヤレスネットワークの最新アップグレードにより、UMCコトレヒトの医療専門家、研究スタッフ、訪問者、患者は、最新のワイヤレスデバイスとアプリケーションをつなぐ最新のWLAN接続技術による堅牢性という恩恵を受けられるようになりました。

既存のインフラストラクチャを活用しながらPoE+テクノロジーに移行することで、大幅なコスト削減を実現しました。Microchip社のミッドスパンとUMCコトレヒトの既存のインフラストラクチャとの互換性

が決め手でしたが、設置が簡単なため、技術アップグレードのコストや複雑さも大幅に削減できました。UMCコトレヒトの管理者は、構内全体に渡って接続されたデバイスからの高帯域の需要に対応することができ、事業の効率性と信頼性を向上させることができました。

Microchip Technology Inc. | 2355 W. Chandler Blvd. | Chandler AZ, 85224-6199 | microchip.com